

2009年度 連結決算 ご説明資料

2010年4月28日
新日鐵化学株式会社
TEL : 03-5207-7600

1. 2009年度決算概況

(1) 連結損益状況 (億円)

	2008年度	2009年度	差異
売上高	2,118	1,793	×325
営業利益	9	105	○96
経常利益	▲6	91	○97
特別損益	▲3	4	○7
法人税、税効果等	▲143	▲28	○115
少数株主損益	▲24	▲5	○19
当期純利益	▲176	62	○238

ROS(経常利益/売上高)	-0.3%	5.1%	○5.4%
---------------	-------	------	-------

	2009.3末	2010.3末	増減
有利子負債	352	255	▽97

当期のわが国経済は、年度前半は世界経済低迷の影響を受けたものの、年度後半より在庫調整の進展やアジア経済回復の恩恵を受け、緩やかな景気回復を辿りました。当社におきましては、コールケミカル事業で、製鋼用電極向けニードルコークスの出荷が減少し、減益となりました。一方、化学品事業では、原料-製品マージンの回復に加え、在庫評価損が無くなったこと、又、機能材料事業では、液晶テレビや携帯電話向け材料の出荷が伸びたこと等により、収益は黒字に転じました。

この結果、連結売上高は、対前年度▲325億円減の1,793億円となりました。又、連結経常利益は同97億円増の91億円となりました。

(2) セグメント別売上高・経常利益 (億円)

		2008年度	2009年度	差異	主要製品
コールケミカル	売上高	約580	約490	約×90	ピッチコークス、ピッチ、95%ナフチン、無水フタル酸 カーボンブラック、特殊炭素製品 製鉄用ガス
	経常利益	約110	約20	約×90	
化学品	売上高	約1,100	約900	約×200	芳香族、スチレンモノマー、ビスフェノールA、潤滑材等
	経常利益	約▲100	約40	約○140	
機能材料	売上高	約430	約410	約×20	2層CCL(エスパネックス)、LCDカーフィルター用レジスト 半導体実装材料、機能性化学品、MS、ABS、エポキシ樹脂 有機EL材料、有機・無機ハイブリッド材料(シルプラス)
	経常利益	約▲30	約30	約○60	
連結計	売上高	2,118	1,793	×325	
	経常利益	▲6	91	○97	

(3) 連結キャッシュ・フロー (億円)

	2008年度	2009年度
現金・現金同等物の期首残高	25	24
経常利益	(▲6)	(91)
税金等調整前当期純利益	△9	95
減価償却費	89	77
売上債権・仕入債務増減他	10	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー A	90	149
固定資産取得	△70	△59
固定資産・投資有価証券売却他	△2	12
投資活動によるキャッシュ・フロー B	△72	△47
借入金増減	11	△97
配当	△29	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	△107
範囲変更/換算差額	△1	△1
現金・現金同等物の期末残高	24	18
フリーキャッシュフロー A+B	18	102

(4) 経済指標・製品市況他

	2008年度実績			2009年度実績			2010 上期見通
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
為替 (円/\$)	106	95	101	96	90	93	90
原油 (\$/BBL)	119.5	60.9	90.2	61.7	76.2	68.9	
ナフ (\$/BBL)	114.7	61.5	88.1	58.6	75.8	67.2	
国産ナフ (千円/kl)	78.4	39.4	58.9	37.3	45.0	41.1	50
SM台湾CIF (\$/t)	1,530	710	1,120	1,030	1,180	1,105	1,300
BPA中国CIF (\$/t)	1,870	930	1,400	1,170	1,510	1,340	1,800

	2008年度		2009年度		2010 見通
	中間	年度	中間	年度	
設備投資額	38	69	20	50	70
減価償却費	45	89	36	77	80
研究開発費	21	45	17	36	40
金融収支(負担金利)	△2	△4	△2	△3	△3

* いずれも連結ベース

(5) 資産／負債状況

(億円)

科目	2010.3末	2009.3末	増減	科目	2010.3末	2009.3末	増減
流動資産	672	533	139	流動負債	602	595	7
内、現金預金	16	14	2	内、支払手形・買掛金・未払費用	331	173	158
受取手形・売掛金	369	231	138	短期借入金	199	337	-138
棚卸資産	193	198	-5	固定負債	182	146	36
繰延税金資産	7	25	-18	内、長期借入金	56	15	41
その他	87	65	22	退職給付引当金	99	102	-3
固定資産	738	770	-32	繰延税金負債	15	15	0
内、有形固定資産	508	539	-31	負債計	784	741	43
無形固定資産	0	0	0	株主資本	551	489	62
投資その他の資産	230	231	-1	内、資本金	50	50	0
(投資有価証券)	(162)	(160)	(2)	資本準備金	83	83	0
(繰延税金資産)	(16)	(17)	(-1)	利益剰余金	418	356	62
(その他)	(52)	(54)	(-2)	評価・換算差額	3	-4	7
資産合計	1,410	1,303	107	少数株主持分	72	77	-5
				純資産計	626	562	64
				負債純資産合計	1,410	1,303	107
				有利子負債 合計	255	352	-97
				自己資本	554	485	69
				D/E比率	0.5倍	0.7倍	
				自己資本比率	39.3%	37.2%	

2. 2010年度見通し

2010年度は、緩やかな景気回復の動きが続くものの、雇用情勢の厳しさ、個人消費の低迷、原材料価格の高騰等、不透明要素が依然として漂っています。こうした中、2010年度の見通し連結売上高は1,900億円、連結経常利益は大分製造所定修影響もあり80億円としました。ニードルコークス、エポキシ樹脂、二層CCCL、液晶カラーフィルター用ブラックマトリックス等の主力製品の拡販に取り組むとともに、新規材料の需要開拓を進めて参ります。

(1) 連結損益状況 (億円)

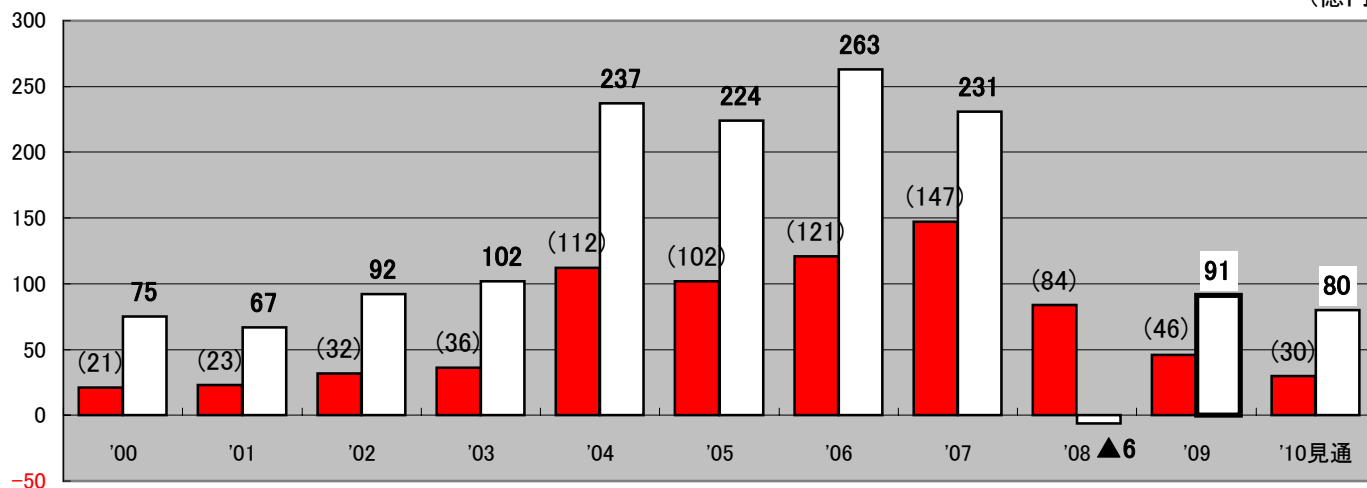
	2009年度実績	2010年度見通し
売上高	1,793	1,900
経常利益	91	80
ROS	5%	約4%
有利子負債	255	230
自己資本比率	39.3%	約40%
D/E比率	0.5倍	0.4倍

(2) セグメント別売上高・経常利益 (億円)

	2009年度実績		2010年度見通し	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コーケミカル	約490	約20	約550	約40
化学品	約900	約40	約900	約10
機能材料	約410	約30	約450	約30
連結計	1,793	91	1,900	80

<連結経常利益の推移> □ 年度 (■ 中間)

(億円)



2009年度の概況について

1. コールケミカル

製鋼用電極向けニードルコークスについては、電極各社の生産・在庫調整の影響を受けて、上期は対前年度同期比で出荷量が大幅に減少しましたが、下期は海外需要家を中心に出荷が増え、足下の生産水準はピーク時の8割程度まで回復しています。また、無水フタル酸と95%ナフタリンの市況も、原油価格の上昇もあり、堅調に推移しています。一方、カーボンブラックや特殊炭素材製品も夫々、上期は大幅な出荷減少となったものの、タイヤ生産の回復、半導体や太陽光発電向け需要の回復傾向により、下期以降は徐々に出荷量が増加しています。

同セグメントの売上高は490億円（対前年度比90億円減）、経常利益は20億円（同90億円減）になりました。

2. 化学品

スチレンモノマーについては、上期はアジア市場での在庫調整の進展とともに、原料－製品マージンが拡大しましたが、下期は新設備稼働の影響により原料－製品マージンは縮小しました。このため、12月より大分スチレンモノマー設備の稼働調整を実施しました。ビスフェノールAについては、PC（ポリカーボネート）需要回復の遅れや、原料価格の上昇により、原料－製品マージンが十分に確保出来ない状態が続きました。

同セグメントの売上高は900億円（対前年度比200億円減）、経常利益は40億円（同140億円増）になりました。

3. 機能材料

内外の経済刺激策の効果もあり、液晶テレビを始めとした電気製品の出荷が回復したことに伴って、当社も液晶カラーフィルター向けブラックマトリックスやエポキシ樹脂の販売を増やしました。エポキシ樹脂については、4月1日付で連結子会社である東都化成の営業・開発部門等を当社に統合しました。両社の持つ人材、技術、販売網を共有化し、ノンハロゲンエポキシ等の機能品・特殊品の開発を加速させるとともに、韓国國都化学（持株比率22.38%）との連携を一層強化し、アジア展開を進めていく考えです。

2層CCLについても、携帯電話の販売回復に合わせ、ハイエンド品を中心とした当社の得意な領域で販売を増やすことが出来ました。シルプラス（ガラス代替樹脂、有機・無機重合体）については、新工場の稼働が始まり、携帯電話前面板やタッチパネル等向けの需要開拓を続けています。更に、新規UV・熱硬化性樹脂材料「エスドリマー」を上市し、耐熱レンズ、機能性フィルム、ハードコート、機能性接着剤等の光学・ディスプレイ関連材料向けの需要開拓を始めました。

同セグメントの売上高は410億円（対前年度比20億円減）、経常利益は30億円（同60億円増）になりました。



2009年度 連結決算概要

1. 損益状況

(単位: 億円)

	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度 (H20)	09年度 (H21)	10年度見通 (H22)
売上高	3,187	2,888	2,118	1,793	1,900
営業利益	265	238	9	105	80
経常利益	263	231	△6	91	80
当期純利益	113	106	△176	62	N.A
ROS(売上高経常利益率)	8.3%	8.0%	—	5.1%	4.2%

2. セグメント別売上高

	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度 (H20)	09年度 (H21)	10年度見通 (H22)
コーンケミカル	1,150	750	580	490	550
化学品	1,470	1,630	1,100	900	900
機能材料	550	500	430	410	450
合計	3,187	2,888	2,118	1,793	1,900

3. 貸借対照表

	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度 (H20)	09年度 (H21)
流動資産	957	874	533	672
有形固定資産	808	571	539	508
無形固定資産	0	2	0	0
投資等	438	374	231	230
資産 計	2,203	1,821	1,303	1,410
有利子負債	634	341	352	255
その他負債	890	700	389	529
少数株主持分	48	62	77	72
自己資本	631	718	485	554
負債純資産 計	2,203	1,821	1,303	1,410
自己資本比率	28.6%	39.4%	37.2%	39.3%

4. キャッシュ・フロー

	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度 (H20)	09年度 (H21)
営業キャッシュ・フロー	238	172	90	149
投資キャッシュ・フロー	△30	35	△72	△47
(フリーキャッシュ・フロー)	208	207	18	102
財務キャッシュ・フロー	△212	△202	△18	△107
その他		△1	△1	△1
現預金等増減	△12	4	△1	△6

5. 主要指標

		06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度 (H20)	09年度 (H21)	10年度見通 (H22)
設備投資額	億円	46	47	69	50	70
減価償却費	億円	107	94	89	77	80
研究開発費	億円	48	48	45	36	40
金融収支(負担金利)	億円	△7	△5	△4	△3	△3
期末有利子負債残高 (" 対前期増減)	億円	634 (△216)	341 (△293)	352 (11)	255 (△97)	230 (△25)
為替レート	円/US\$	117.0	115.0	100.5	93.1	上期 90.0
国産ナフサ価格	千円/KL	50.0	61.5	58.9	41.1	上期 50.0

注) 設備投資額は、有形・無形固定資産増減(建設仮勘定編入)ベース。
研究開発費は、費用算入ベース。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (10. 3. 31現在)	前 期 (09. 3. 31現在)	増 減	科 目	当 期 (10. 3. 31現在)	前 期 (09. 3. 31現在)	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	67,204	53,257	13,946	流 動 負 債	60,187	59,524	662
現 金 及 び 預 金	1,611	1,364	247	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	26,758	11,112	15,646
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	36,871	23,094	13,776	短 期 借 入 金	19,861	33,683	△13,822
た な 卸 資 産	19,300	19,751	△451	未 払 費 用	6,359	6,239	120
そ の 他	9,427	9,048	379	そ の 他	7,208	8,490	△1,281
貸 倒 引 当 金	(-) 6	(-) 1	△5				
固 定 資 産	73,836	77,044	△3,208	固 定 負 債	18,234	14,617	3,616
有形固定資産	50,845	53,900	△3,055	長 期 借 入 金	5,638	1,552	4,086
建 物 及 び 構 築 物	17,061	17,815	△754	再評価に係る繰延税金負債	1,531	1,531	—
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	15,895	16,789	△894	退 職 給 付 引 当 金	9,913	10,162	△248
土 地	16,446	16,499	△53	そ の 他	1,151	1,371	△220
そ の 他	1,443	2,796	△1,353				
無形固定資産	41	48	△7	負 債 合 計	78,421	74,142	4,279
投資その他の資産	22,949	23,094	△145	(純資産の部)			
投 資 有 価 証 券	16,210	16,039	170	資 本 金	5,000	5,000	—
繰 延 税 金 資 産	1,571	1,667	△96	資 本 剰 余 金	8,284	8,284	—
そ の 他	5,834	6,105	△270	利 益 剰 余 金	41,825	35,629	6,195
貸 倒 引 当 金	(-) 666	(-) 717	51	株 主 資 本 合 計	55,109	48,914	6,195
				そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	807	369	438
				土 地 再 評 価 差 額 金	2,296	2,296	—
				為 替 換 算 調 整 勘 定	△2,801	△3,082	281
				評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	302	△417	720
				少 数 株 主 持 分	7,206	7,663	△457
				純 資 産 合 計	62,618	56,160	6,458
資 産 合 計	141,040	130,302	10,737	負 債 純 資 産 合 計	141,040	130,302	10,737

(自己資本) (55,412) (48,496) (6,916)

連結損益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (09. 4. 1~10. 3. 31)		前 期 (08. 4. 1~09. 3. 31)		増 減
	金 額	%	金 額	%	金 額
売 上 高	179,381	100.0	211,846	100.0	△32,464
売 上 原 価	151,091		190,909		△39,818
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,715		20,011		△2,296
営 業 費 用	168,807		210,921		△42,114
営 業 利 益	10,574	5.9	924	0.4	9,650
受 取 利 息	24		30		△6
受 取 配 当 金	237		343		△105
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	548		959		△411
そ の 他	1,069		541		527
営 業 外 収 益	1,879		1,875		3
支 払 利 息	356		375		△19
為 替 差 損	802		237		565
固 定 資 産 除 却 損 等	1,600		1,200		399
そ の 他	550		1,580		△1,029
営 業 外 費 用	3,310		3,394		△84
営 業 外 損 益	△1,431		△1,519		87
経 常 利 益	9,143	5.1	△594	△0.3	9,737
投 資 有 価 証 券 売 却 益	449		—		449
特 別 利 益	449		—		449
固 定 資 産 売 却 損 等	—		114		△114
投 資 有 価 証 券 売 却 損 失	—		13		△13
投 資 有 価 証 券 等 評 価 損 失	—		169		△169
特 別 損 失	—		296		△296
特 別 損 益	449		△296		746
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	9,593	5.4	△891	△0.4	10,484
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,058		4,916		△3,858
法 人 税 等 調 整 額	1,816		9,400		△7,584
少 数 株 主 利 益	△523		△2,405		1,882
当 期 純 利 益	6,195	3.5	△17,613	△8.3	23,809

連結株主資本等 変動計算書

(自 2009年4月1日～至 2010年3月31日)

(単位：百万円)

		株主資本			
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計
前期末残高		5,000	8,284	35,629	48,914
当期 変動 額	剰余金の配当				
	当期純利益			6,195	6,195
	連結及び持分法適用範囲 の変更等に伴う増減額				
	土地再評価差額金の取崩 による増加額				
	株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)				
当期変動額合計				6,195	6,195
当期末残高		5,000	8,284	41,825	55,109

		評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
		その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調整 勘定差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高		369		2,296	△3,082	△417	7,663	56,160
当期 変動 額	剰余金の配当							
	当期純利益							6,195
	連結及び持分法適用範囲 の変更等に伴う増減額							
	土地再評価差額金の取崩 による増加額							
	株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)	438			281	720	△457	262
当期変動額合計		438			281	720	△457	6,458
当期末残高		807		2,296	△2,801	302	7,206	62,618

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(09. 4. 1～10. 3. 31)	(08. 4. 1～09. 3. 31)
	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前当期純利益	9,593	△ 891
2. 減価償却費	7,674	8,891
3. 受取利息及び受取配当金	△ 264	△ 374
4. 支払利息	356	375
5. 持分法による投資利益	△ 548	△ 959
6. 固定資産売却損失等	—	114
7. 投資有価証券売却益	△ 449	—
8. 売上債権、仕入債務の増減額	1,891	△ 5,414
9. たな卸資産の増減額	451	2,452
10. その他	△ 1,100	9,007
小 計	17,603	13,201
11. 利息及び配当金の受取額	396	713
12. 利息の支払額	△ 411	△ 355
13. 法人税等の支払額	△ 2,630	△ 4,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,956	9,071
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形固定資産等の取得による支出	△ 5,948	△ 7,035
2. 有形固定資産等の売却による収入	130	82
3. 投資有価証券等の売却による収入	1,400	49
4. その他の資産増減額	△ 333	△ 309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,751	△ 7,212
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 借入金の借入、返済による収支	△ 9,736	1,100
2. 配当金の支払額	—	△ 2,000
3. 少数株主への配当金の支払額	△ 982	△ 943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,719	△ 1,843
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 17	△ 132
V. 現金及び現金同等物の増加額	△ 531	△ 117
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,361	2,480
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	1,830	2,361